

【 88 】

氏名	吉 津 法 爾
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1514 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和59年12月31日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学 位 論 文 題 目	区別低体温法に関する実験的研究 一体外循環による頸動脈加温灌流について一
論 文 審 査 委 員	教授 寺本 滋    教授 中山 沃    教授 折田薫三

### 学位論文内容の要旨

区別低体温法とは、担癌動物を全身低体温にし、腫瘍だけを選択的に正常温に保つ、悪性腫瘍に対する温熱療法である。

悪性脳腫瘍に対してこの療法を臨床応用するにあたっては、血流の豊富な脳を充分均一にかつ安全に加温する方法が必要である。そのための基礎実験として、22～32℃の全身低体温にした26頭の雑種成犬に対して、1側頸動脈を加温血液で灌流した。その結果、内頸動脈を灌流した13例中8例（61.5%）と総頸動脈を灌流した13例全例（100%）において、灌流側脳温を35℃以上に保つことができた。頸動脈加温灌流自体による頭蓋内圧の亢進は認められず、また実験により死亡した例についても、脳浮腫や脳梗塞の所見は認められなかった。26例の実験犬のうち、2～10時間の総頸動脈灌流を行った7例（26.9%）が、長期生存した。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は悪性脳腫瘍の治療に関する実験的基礎的研究であるが、犬を用いて体外循環を用い頸動脈加温灌流を行なって区別低体温法による脳の影響を検討した結果、本法による治療について重要な知見を得たものであって価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。